

3/31 佐倉支部、結成を力かちとる

『動労千葉に結集することが
最良の方針』 堀口支部長！

三月三十一日、佐倉支部結成大会に先だって行われた臨時支部大会は、傍聴者三十名が結集し代議員定数三十七名中二十七名の出席をえて大会が成立したことを確認し開催された。あいさつにたった堀口支部長は「私達執行部は一月十八日の執行委員会において全員一致で動労千葉の仲間と共に闘っていくことが最良の方針であると結論に達した。この間、感情的に種々行違ひもあったと思うが、労働者は団結しなければ力を発揮することできない。この間のわだかまりについて一切水に流して全体が動労千葉に結集されることを訴えます」とのあいさつがなされた。

つづいて動労千葉から出席した本部三役、松崎（新小岩）宇佐美（蘇我）日暮（成田）三支部長を代表して関川執行委員長があいさつを行った。その後、執行部側から、佐倉支部は動労千葉に加入することを主にした「当面する組織方針」が提起され、満場一致で確認決定された。

臨時支部大会の終了後、ただちに支部結成大会が開催され、「当面する組織・財政方針」を代議員の満場一致の賛意を示す拍手の中で決定し、動労千葉新生佐倉支部が誕生したのである。

臨時支部大会で確認された「当面する組織方針」

1. 佐倉支部は、国鉄千葉動力車労働組合に加入し、一四〇〇名組合員とともに闘うこととします。
2. 佐倉支部のもつ一切の財産、権能を国鉄千葉動力車労働組合佐倉支部に移譲することとします。
3. 新組合の結成準備委員は、現在の全執行部があたることとします。
4. 新組合結成大会の代議員は、佐倉支部一九七九年度代議員があたることとします。
5. 本大会終了後も引き続き「団結署名」を実施し、大会決定の意志統一をはかることとします。

三月三十一日、ついに動労千葉佐倉支部が結成された。佐倉支部組合員のみならず。われわれは、支部執行部を先頭にひとり一人の組合員が、「本部」反動分子によるイヤガラセ、デマ宣伝に抗して「労働組合とは何か」を真剣に考え、苦闘する中から支部の組合員の最高意志決定機関である、支部大会において動労千葉結集に踏切る決定をしたことに対し心の底から歓迎するものである。この画期的な佐倉支部結成こそ、わが動労千葉が「本部」反動分子との一年間に及ぶ組織争闘戦に勝利し前進していることのなによりもの証左である。

支部結成大会で決定された
「当面する組織・財政方針」

1. この組合は、国鉄千葉動力車労働組合佐倉支部に所属する組合員で構成し、動労の戦闘的伝統を継承・発展させる立場から、動労千葉傘下十一支部の組合員と共に闘います。
2. 運動方針及び財政方針は、国鉄千葉動力車労働組合第三回定期大会の方針を踏襲します。
3. 予算については、四月中に支部委員会を開催し決定します。
4. 支部費は従来と同様一ヶ月二五〇円とします。
5. 支部分科会、青年部の結成は四月中に完了することとします。

佐倉支部 臨時大会



定数37名中27名の代議員が結集し開かれた臨時支部大会は、満場一致で動労千葉に結集する事を決定した。議長は岩井英夫氏。

真新しい組合旗・腕章・公印等をうけとり、関川委員長からの祝福と激励を受ける堀口佐倉支部長。

千葉佐倉支部結成大会



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

日刊 動労千葉

80.4.2

NO. 392

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（電話）二五八一九（公衆電話）二七二〇七